

サステナビリティ推進体制

サステナビリティ課題の 特定と推進体制

短期的な業績だけでなく、中長期的な視点から企業の成長性を評価する動きが世界的に広がっています。

Honda は、ステークホルダーの視点を踏まえながら、中長期的に企業価値に影響を及ぼすさまざまな課題への取り組みを強化すること、すなわち企業としてのサステナビリティを向上させていくことが、企業戦略の重要な要素の一つであると考えています。

そのため、サステナビリティ活動の方針や取り組みを議論、検討する場として副社長(COO)を議長とする「サステナビリティ戦略会議」を設定しています。

この会議では、全社長期ビジョン実現に向けた課題を、主要なステークホルダーとの対話などから認識した期待や要請に照らし合わせ、その対応・推進の進捗状況の確認も含め、重要課題として経営レベルで議論しています。

2017年度からは、前年度まで別会議で詳細を議論していた環境安全領域も取り込んで、サステナビリティの課題をより統合的に一つの会議体で議論することとしました。

ここで検討された重要課題を踏まえて、経営会議や取締役会で全社戦略を決定し、各本部、各子会社の方針・施策として実行しています。

サステナビリティ推進体制（2017年度～）

